

第87回 火力専門委員会 構造分科会 議事録（案）

1. 日 時：2015年11月18日（水）13時30分～15時20分
2. 場 所：日本機械学会 第3,4会議室
3. 出席者：飯田（東電）、西野（配管技術研究協会）、西田（MHPS 長崎）、高野（中電）、
大橋（IHI）、黒板（東芝）、黒川（川崎重工）
代理者：なし
オブザーバー：なし
欠席者：小高（富士電機）、田村（MHPS 日立）、豊嶋（MHPS 呉）、妹尾（関電）
事務局：原

4. 配布資料

- 87-1 第86回構造分科会議事録（案）
- 87-2 構造分科会委員名簿
- 87-3 第73回火力専門委員会議事録（案）
- 87-4 第75回発電用設備規格委員会議事録（案）
- 87-5 発電用火力設備規格追補案 書面投票（8/7-9/7）結果他報告
- 87-6 JESC（日本電気技術規格委員会）技術基準適合性審査経過報告
- 87-7 発電用火力設備規格追補案 公衆審査結果報告
- 87-8 審議履歴表
- 87-9-1 レビュー票（中部電力）
- 87-10 2015追補原稿案（第Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ章）
- 87-11 火力関係規格改訂スケジュール

5. 議題

(1) 前回議事録確認

[資料 87-1]

前回議事録（案）について確認を行ない、以下の誤記修正を行ったうえで議事録案は承認された。

- ・（4-2）の（1）の項目名のところ USC → UCS に修正する。

(2) 分科会委員・役員の承認

[資料 87-2]

西田委員（幹事）と大橋委員、豊嶋委員の再任意向が報告され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。

(3) 委員会報告

1) 火力専門委員会報告

[資料 87-3]

8月28日開催の第73回火力専門委員会の主要項目が報告された。

- ・ 構造分科会の飯田委員（主査）、高野委員の再任承認。

- ・第 78 回材料分科会報告
火 STBA28 系鋼の許容引張応力の再見直しと、見直し結果を次期改訂版(201X 年版)に反映させる方針が決まったこと。
- ・第 86 回構造分科会報告
書面投票意見対応による追加修正箇所についての審議状況、レビュー票審議状況について報告。
- ・第 67 回溶接分科会報告
検査に係る用語については、ASME、JSME の用語の使い方をさらに調査・検討
- ・審議結果の報告
火力設備追補案(追加修正部分)の審議結果および配管減肉管理に関する規格(CA1)の規格委員会書面投票結果(いずれも承認)の報告

2) 規格委員会報告

[資料 87-4]

9 月 9 日開催の第 75 回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- ・火力専門委員会についての報告。
- ・発電用火力設備規格の追補案の審議
書面投票の意見対応案の承認、公衆審査実施の承認、JESC へ技術基準適合性の審議依頼を行うことの承認が報告された。

3) 発電用火力設備規格追補案 書面投票 No310 結果報告他

[資料 87-5]

- ・資料に基づき、8/7～9/7 に実施された、規格委員会書面投票 No310 の結果について報告された。(可決)
- ・また、規格委員会での追補案の審議に関する提案資料の説明、委員会での質疑応答について報告された。

4) JESC(日本電気技術規格委員会)技術基準適合性審査経過報告

飯田主査から、JESC における審議状況について、報告があった。

- ・10 月 2 日の JESC 技術会議は何点か質問があったが、規格の変更が必要となるような問題となるものは無かった。
- ・昨日 11 月 17 日に開催された本委員会での配布資料の内、PPT による改訂概要の説明資料が紹介された。
- ・本委員会では 4 点ほど指摘があり、持ち帰り確認した上で事務局および委員長に結果を報告することになった。報告結果に問題が無いことを委員長が確認することを条件に JESC 承認された。

5) 発電用火力設備規格追補案 公衆審査結果報告

10 月 1 日から 11 月 2 日に、発電用火力設備規格追補案の公衆審査が実施され、ご意見が無かったことが報告された。

(4) 審議事項

(1) 201X 年改訂のスケジュール

[資料 87-11]

高クロム鋼の更なるクリープ強度見直しがあり、材料分科会では 201X 版にこれを反映する方針とした。11 月の材料専門委員会で見直し内容のレビューを依頼する予定であり、材料専門委員会での検討期間は 6 ヶ月程度と見込まれるため、これを改訂スケジュールに反映すると、201X 版の火力専門委員会への改訂提案の時期は 2016 年 11 月頃となる(1 年後)見通し。

構造分科会としては、遅くともこの見直されたスケジュールまでに改訂作業を終えるように今後の作業を進めることを確認した。

(2) 発電用火力設備規格(2015 年追補)の改訂原稿の準備について

既にメールにて改訂原稿の確認をお願いしているが、原稿確認用に改訂原稿一式を配布した。

(3) レビュー票審議

(1) レビュー票(中部電力) V 章 100

[資料 87-9-1]

高野委員より、コメント反映版を説明。

○ 100.2

- ・パッケージ機器の中の“skid”の訳は、「滑り材」→「スキッド」に変更する。

○ 100.1.3(C)

- ・文章表現を、日本規格協会の訳を参考に次回再検討する。

6. 次回開催予定

日 時：2016 年 2 月 3 日（水）13 時 30 分～17 時 00 分

場 所：日本機械学会 第 3・4 会議室

以 上